

ヤリスクロス モデリスタ バージョン

フロントスポイラー 取付要領書

品番 D2531-63610-XX
品番 MSD41-52007/8-XX

設定型式: MXPB1# / MXPJ1# 設定グレード: 全グレード

このたびは、モデリスタ商品をお買い上げ頂きましてありがとうございます。
本書は、フロントスポイラーの取付要領について記載してあります。
取り付け前に必ずお読み頂き、正しい取り付けを行なって下さい。

取り付け上の注意事項

- 取り付ける前に車両に傷がついていないか点検して下さい。
- エンジンがかかっている状態では絶対に作業を行なわないで下さい。
- 車両部品の取り外しに際して、紛失や混乱がない様に部品ごとに整理して、復元する際、間違えない様に配慮して下さい。また、部品に傷を付けたりしない様に取り扱いに注意して作業を行なって下さい。
- 本書で指示した部品以外は、取り外さない様に注意して下さい。
- 商品の仮合せ時等においては、マスキングテープ等で車両側への傷付き防止策を行なった上で実施下さい。
- フロントスポイラーを取り付ける部分の汚れ、ゴミ、ホコリをウエスで拭き取って下さい。
- エンドモール(両面テープ付き)・両面テープを貼り付ける部分は、必ず一方向に拭いて脱脂して下さい。脱脂作業を怠ると両面テープを接着しても剥がれる場合があります。
- 両面テープの接着力促進剤として、必ず両面テープ用プライマーを塗って下さい。(PACプライマーK-500を本品に添付)
- Ⓢ プライマーの効力を発揮させる為、塗布後、常温で10分間以上放置し乾燥させて下さい。
- Ⓢ 両面テープは、外気温が20℃以下になると接着力が低下しますので、両面テープ及び被接着面をドライヤー等で温めてから貼り付け作業を行なって下さい。
- 両面テープのプライマーは、特に白色塗装面を黄変させますので必ず塗装面をマスキングし、はみだしたプライマーは、アルコール等で完全に拭き取って下さい。
- ボディーコートが塗布されている車両は塗装用コンパウンドでボディーコートを剥離して下さい。(必ずマスキングし、なるべく細かい番手で行なう。) ボディーコートが塗布されている車両は脱脂作業を行なっても、プライマーの接着力促進効果を十分に発揮できない場合があります。ボディーコート除去後は、アルコール等で脱脂をきちんと行なって下さい。
- Ⓢ 両面テープの圧着を十分に行なって下さい。49N(5kgf)以上
- Ⓢ フロントスポイラー固定用のビス類の本締めは両面テープ貼り付け後3時間以上放置後行なって下さい。

取り付け完了後の点検・注意事項

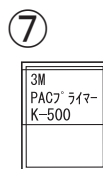
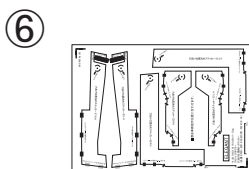
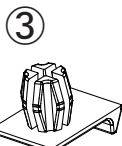
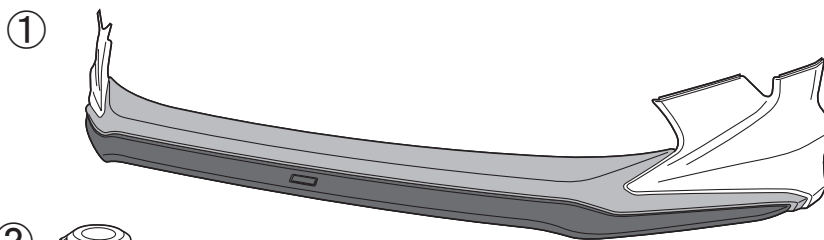
- フロントスポイラーが、車両バンパーに確実に共締めされているか点検して下さい。
- 両面テープの全ての離型紙が剥がされ、確実に圧着されているか点検して下さい。
- 取り付け完了後、フロントスポイラー及び車両部品に傷がついていないか点検して下さい。
- 取り付け完了後、最低24時間は強い力をかけたり、雨等で濡れない様注意して下さい。(両面テープの剥がれ、車両バンパーとフロントスポイラーとの間に隙間が発生する恐れがあります。)



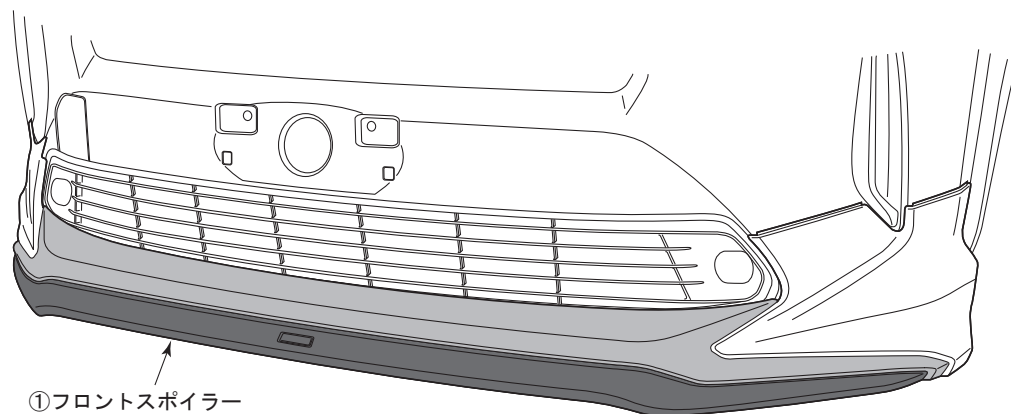
アドバイス…この取付要領書では、スピーディーに安全な作業をして頂く上で知っておいて頂きたい事を左図マークで表示しております。

構成部品

No.	品名	個数
①	フロントスポイラー	1
②	クリップナット	2
③	スクリューグロメット	4
④	アセットタッピングスクリューM6×16	4
⑤	クリップA	2
⑥	穴あけ位置決めステッカー	1
⑦	PACプライマーK-500	1



取り付け概要



注意

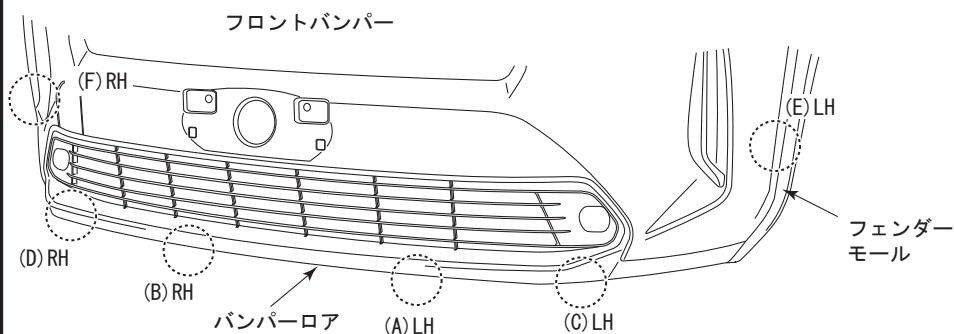
カラードフェンダー(品番:MSD15-52001/2)と同時装着する場合は、必ずカラードフェンダーを先に取り付けて下さい。

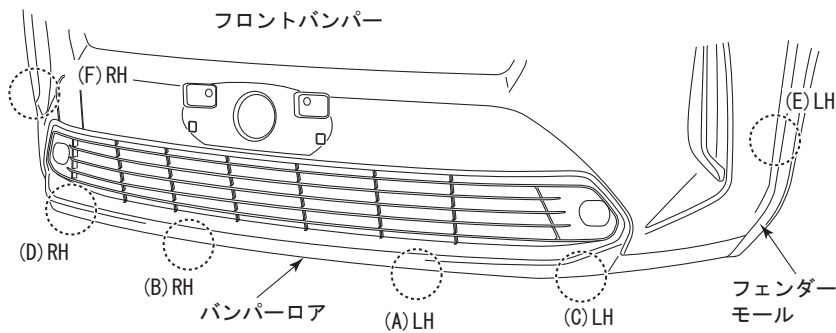
取り付け手順

(1) 取り付け準備

1. 車両図示位置へ、⑥穴あけ位置決めステッカー(A~F)を記載の要領で貼り付ける。
(左右各3カ所 計6カ所)

※次ページに続く

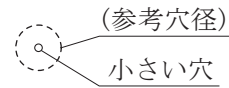




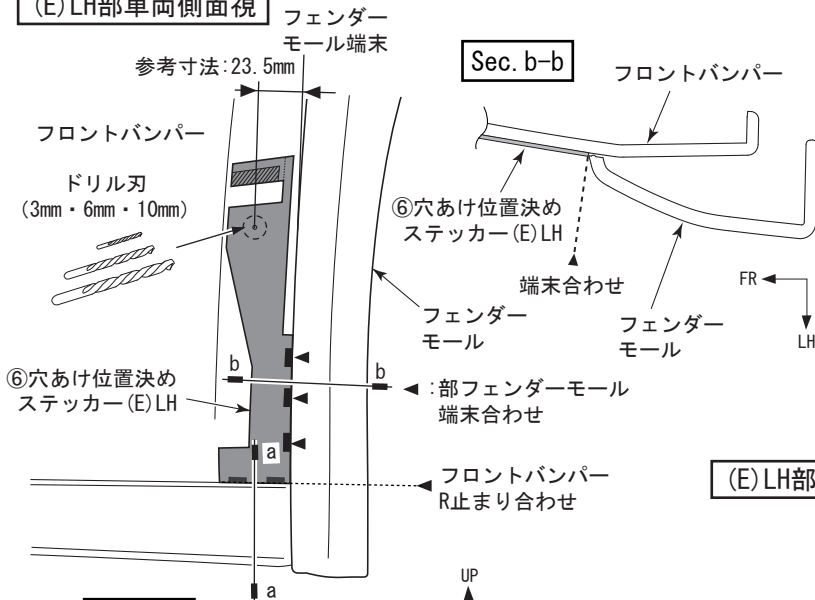
- ⑥穴あけ位置決めステッカーに型抜きされている小さい穴の中心を狙い、ドリルで下穴φ3mm、φ6mm、正規穴φ10mmの順に穴をあける。(左右各3カ所 計6カ所)
- ⑥穴あけ位置決めステッカー(E)LH記載のキリトリ線に沿って切り離し、『モール上端合わせ』部を残して剥がす。
- 穴周りに出来たバリを取り、仕上げる。

アドバイス

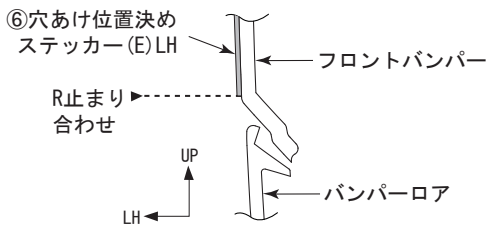
- 型抜きされている小さい穴を狙って穴あけをして下さい。
- 突き抜け防止の為、ドリル先端から10mmのところを布テープを巻き付けて下さい。



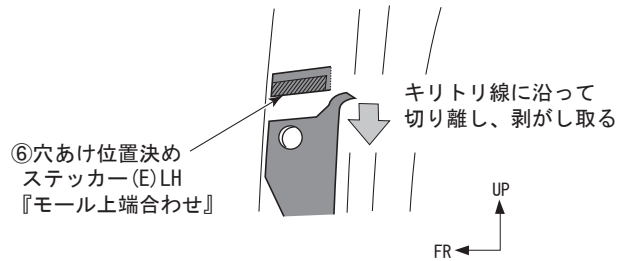
(E) LH部車両側面視



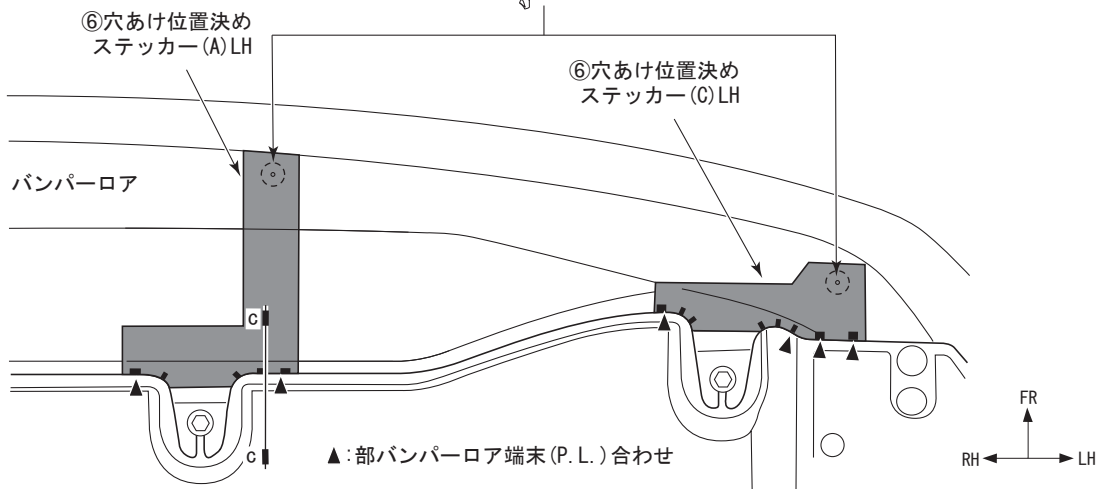
Sec. a-a



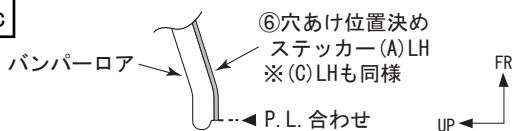
(E) LH部車両側面視



(A), (C) 部車両下面視



Sec. c-c

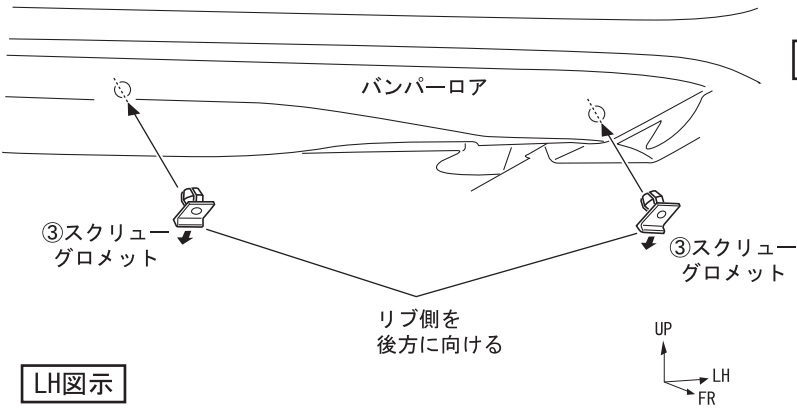


LH図示

※RHも同様

(2) 取り付け準備

取付部下面視

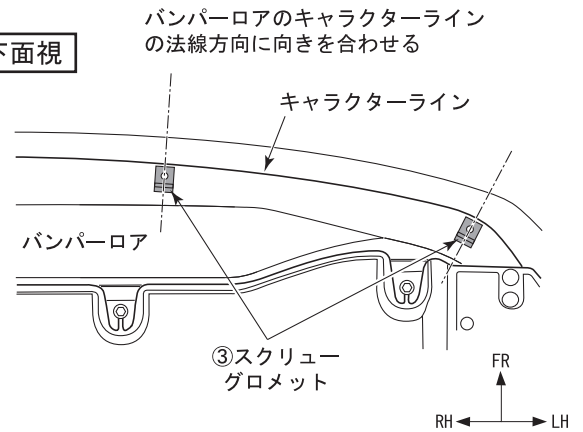


LH図示

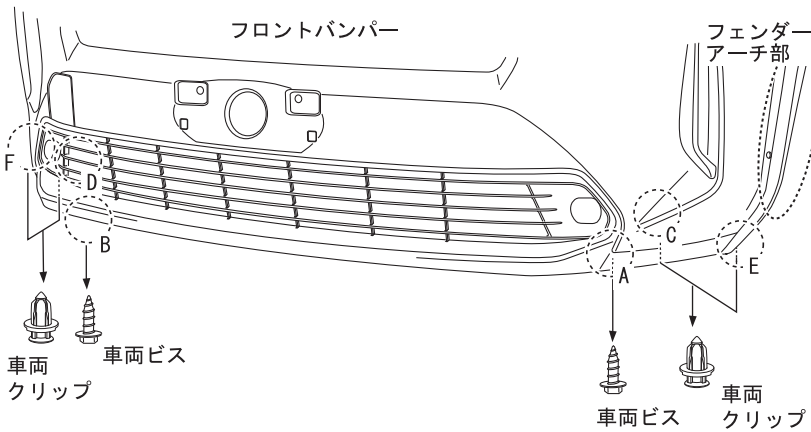
※RHも同様

- 1- (2) であけたバンパーロア下面の穴に、③スクリューグロメットを左図の要領で取り付ける。(左右各2カ所 計4カ所)

下面視



(3) 取り付け準備



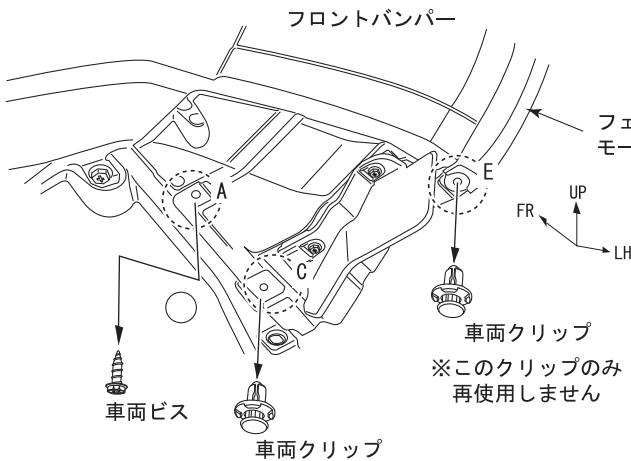
1. フェンダーライナー下面、図示A~F部の車両ビス、クリップを取り外す。(左右各3カ所 計6カ所)
2. 車両フェンダーアーチ折り返し上部の車両ビスを取り外す。(左右各1カ所 計2カ所)
3. 車両フェンダーアーチ折り返し部のフェンダーライナーリテーナーの固定ピンを外し、フェンダーライナーリテーナーを取り外す。(左右各1カ所 計2カ所)



アドバイス

- ・取り外した車両ビス、クリップは一部を除き再使用しますので、紛失しない様ご注意ください。

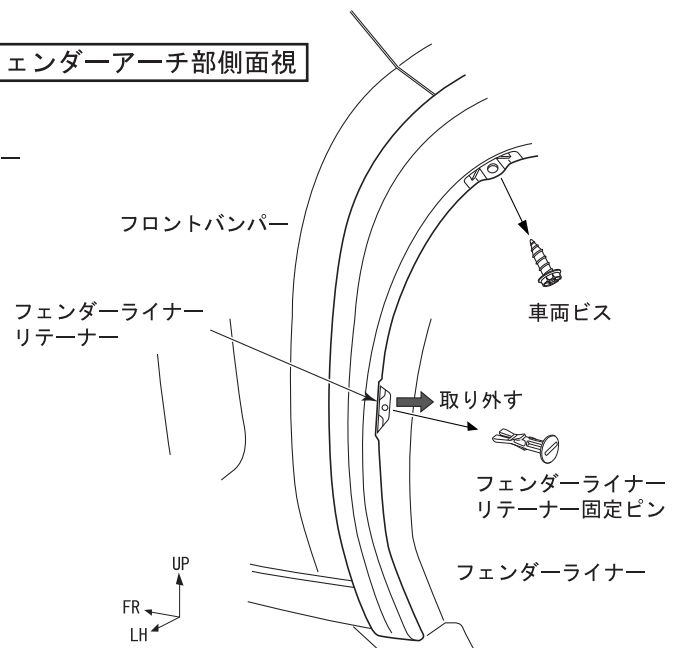
A, C, E部車両側面視



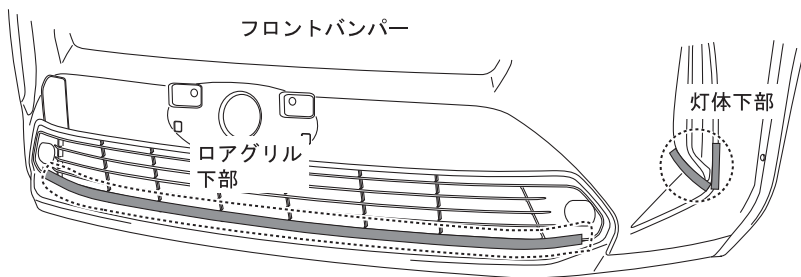
LH図示

※RHも同様

フェンダーアーチ部側面視

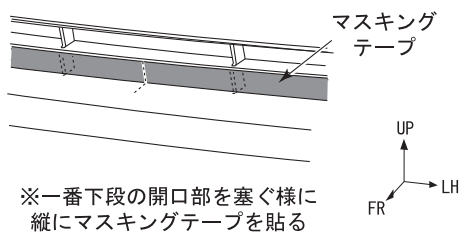


(4) 取り付け準備



1. プライマー塗布の為に、左図の要領でロアグリル下部及びコーナーの灯体下部にマスキングテープでマスキングする。

ロアグリル下部詳細図



灯体下部詳細図

※灯体の末端に合わせてマスキングテープを貼る

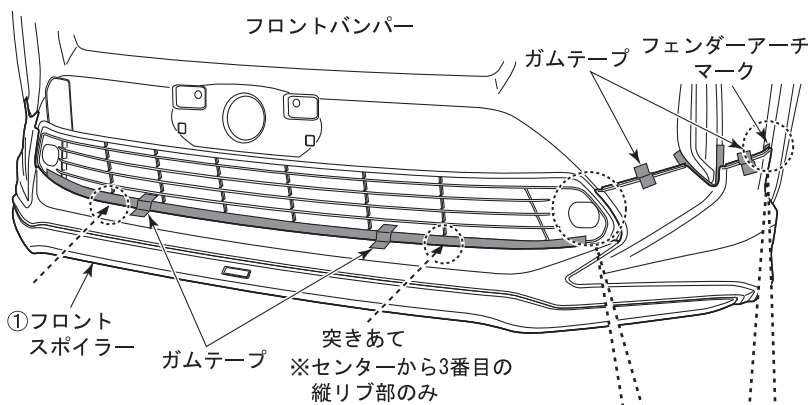
マスキングテープ

マスキングテープ

LH図示

※RHも同様

(5) 取り付け準備

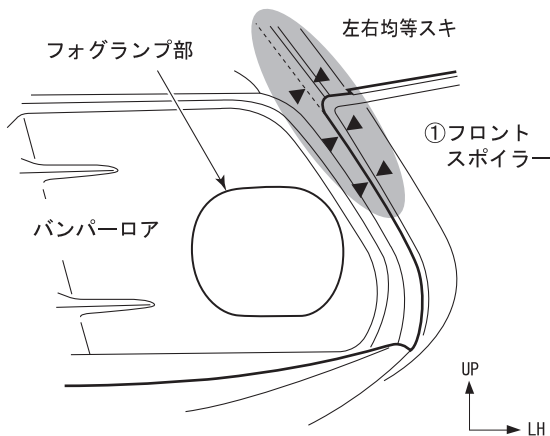


1. ①フロントスポイラー側面のボルト部を穴に差し込み車両に仮あてし、ガムテープで仮固定する。その際、図示②部は左図の要領で合わせを行なう。

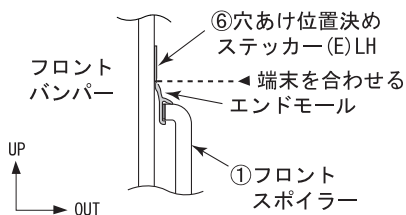
アドバイス

- ・位置決めの際、フェンダーモール部の左右のスキを均等にして下さい。
- ・①フロントスポイラーをあてがう際、車両へキズを付けない様に注意して下さい。

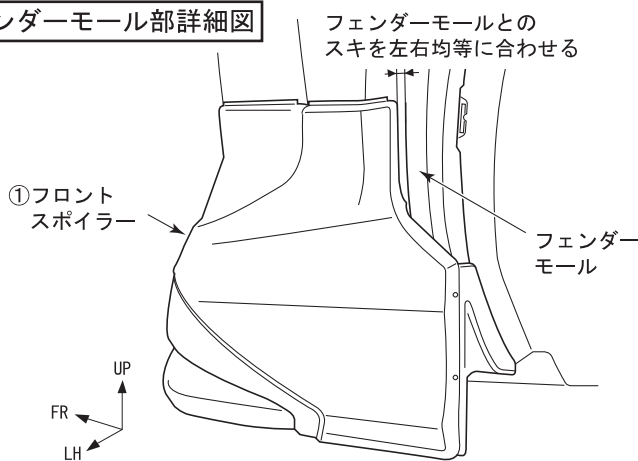
フォグランプ部詳細図



フェンダーアーチマーク部断面図



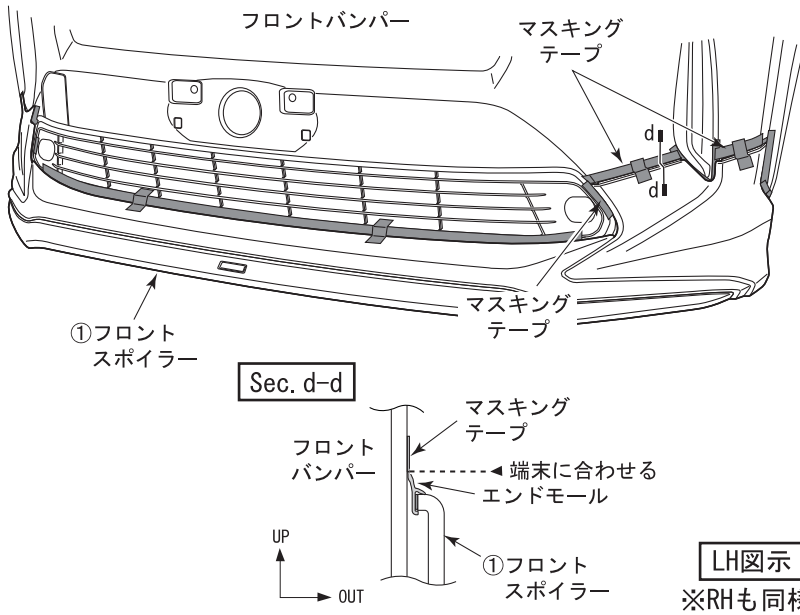
フェンダーモール部詳細図



LH図示

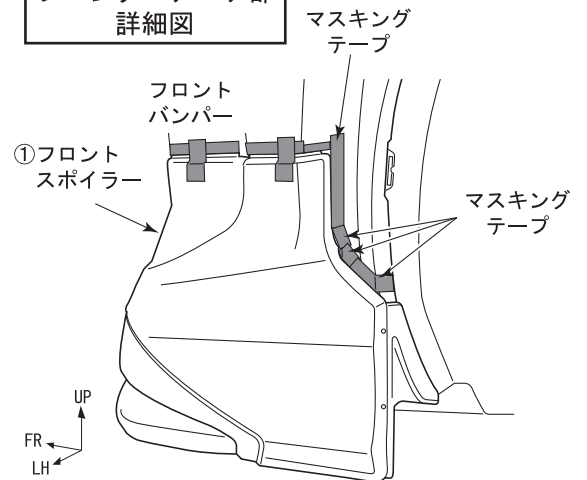
※RHも同様

(6) 取り付け準備



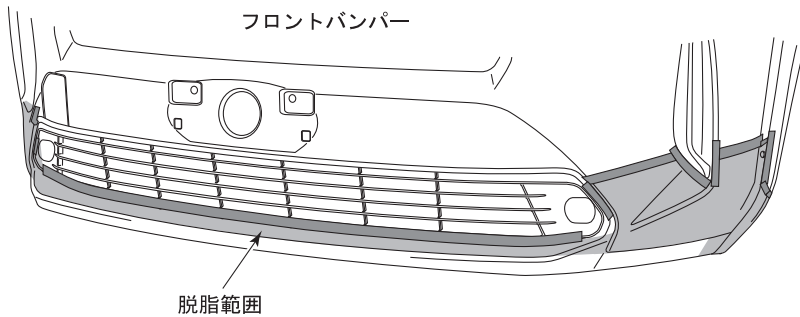
1. プライマー塗布の為に、左図の要領で①フロントスポイラーに貼り付けてあるモール上端及び外周端末に合わせてマスキングテープでマスキングする。
2. ①フロントスポイラーを取り外す。

**フェンダーアーチ部
詳細図**



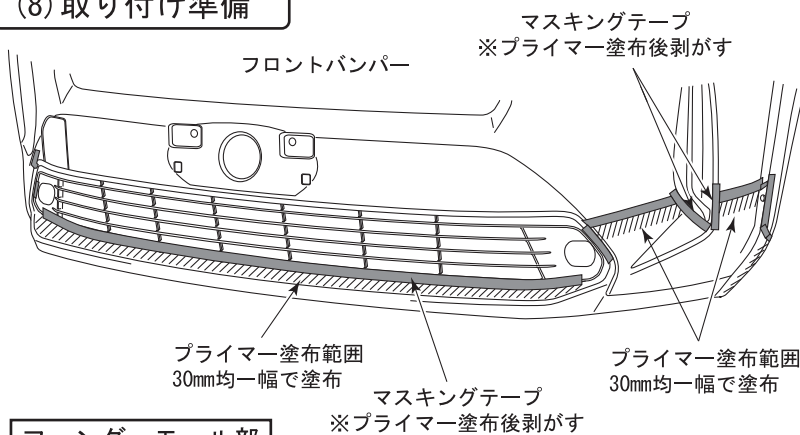
LH図示
※RHも同様

(7) 取り付け準備



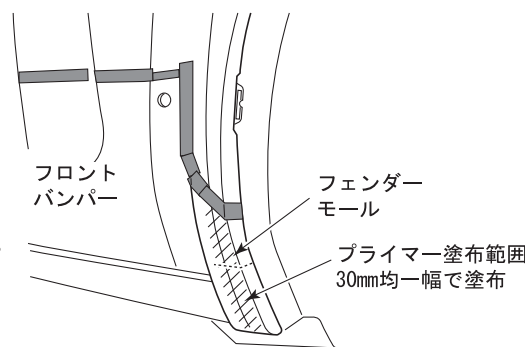
1. 左図 ■部を一方方向に拭いて脱脂する。

(8) 取り付け準備



1. 両面テープ貼り付け部（左図斜線部内側30mm幅）に⑦PACプライマー-K-500を塗布する。
2. ⑦PACプライマー-K-500塗布後、①フロントスポイラー取り付け前に貼った図示のマスキングテープを剥がす。それ以外のマスキングテープは①フロントスポイラー取り付け時にマーク及び傷付き防止の養生になるので剥がさないで下さい。

**フェンダーモール部
詳細図**



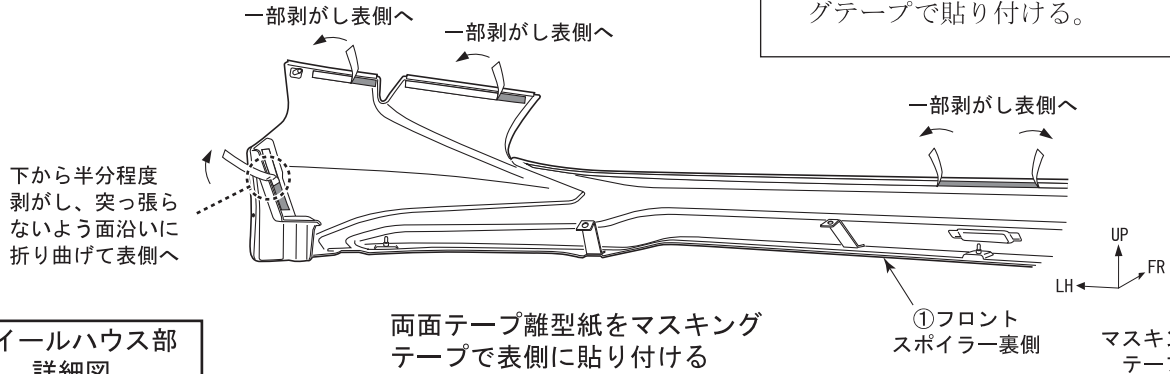
LH図示
※RHも同様

アドバイス

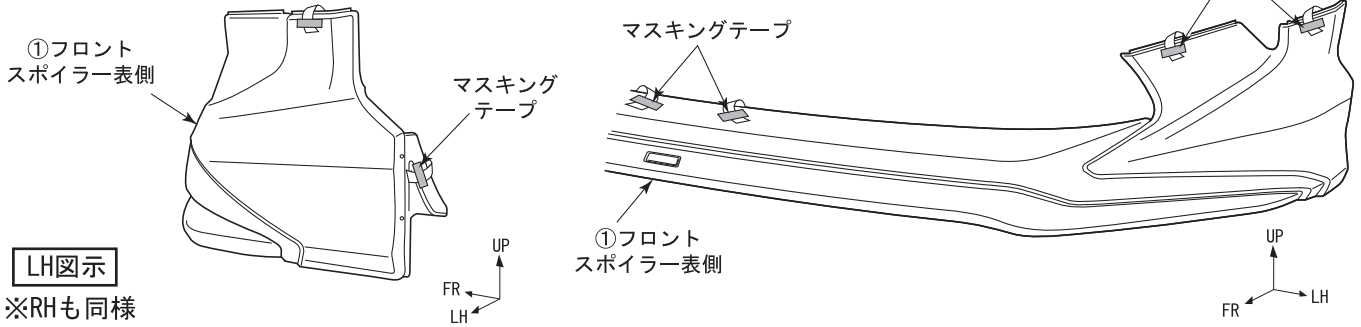
- ・⑦PACプライマー-K-500は①フロントスポイラー取り付け時に再使用します。揮発が高いので、速やかに袋に戻し揮発を抑えて下さい。
- ・⑦PACプライマー-K-500は特に白色塗装面を黄変させますので、マスキングするか、はみ出したプライマーは、アルコール等で拭き取って下さい。
- ・⑦PACプライマー-K-500塗布後は、常温で10分以上放置し乾燥させて下さい。
- ・ボディーコート処理されている車両は、マスキングをして両面テープ貼り付け部を塗装用コンパウンドで除去して下さい。

(9) 取り付け準備

- ①フロントスポイラーの両面テープ離型紙を一部剥がし、表面に折り返してマスキングテープで貼り付ける。



ホイールハウス部 詳細図



LH図示

※RHも同様

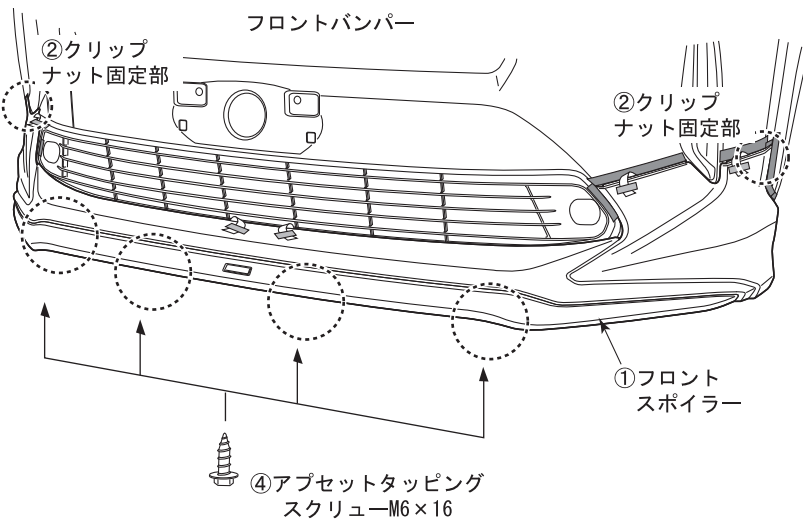
(10) 取り付け

- ①フロントスポイラー側面のボルト部を穴に差し込み、フェンダーアーチのマーク位置に合わせて仮あてする。
- 下面ブラケット部を、④アプセットタッピングスクリューM6×16で仮固定する。
(左右各2カ所 計4カ所)
- ①フロントスポイラー側面のボルト部を、フロントバンパー裏側から②クリップナットで本締めする。(左右各1カ所 計2カ所)

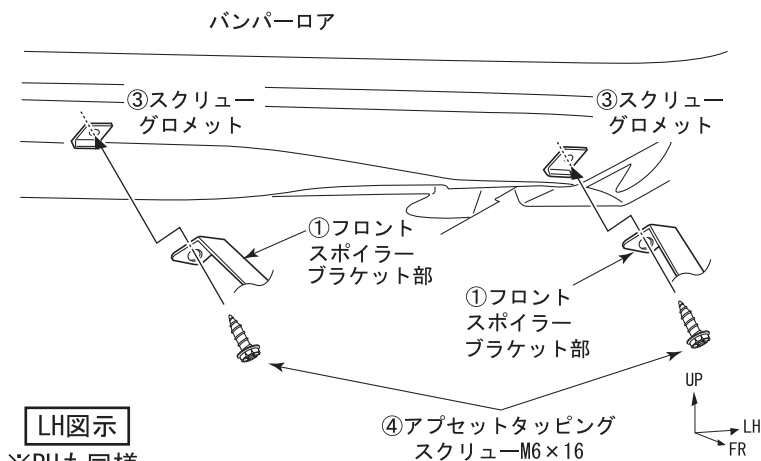


アドバイス

- ①フロントスポイラーをあてがう際、車両へキズを付けない様に注意して下さい。



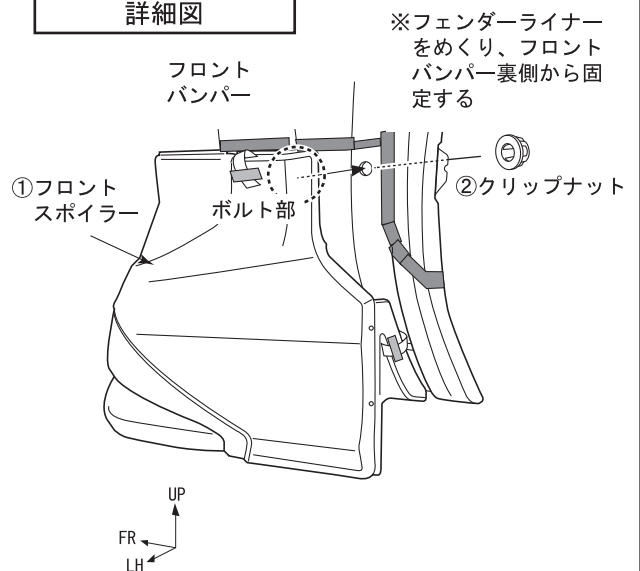
ブラケット部下面視



LH図示

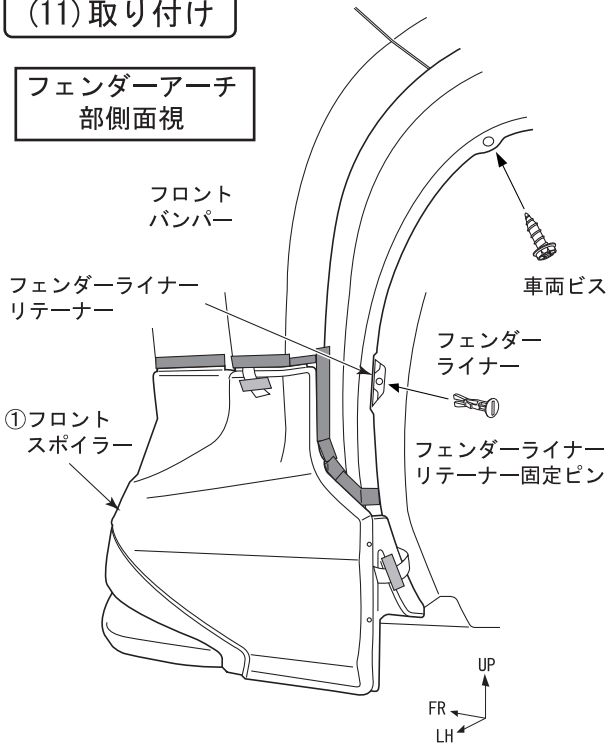
※RHも同様

フェンダーアーチ部 詳細図

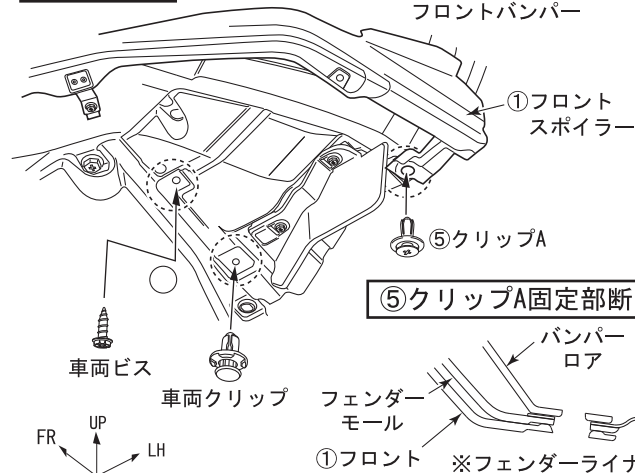


(11) 取り付け

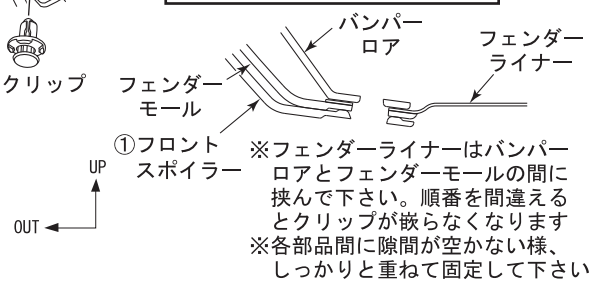
フェンダーアーチ部側面視



後端下面部



⑤クリップA固定部断面図

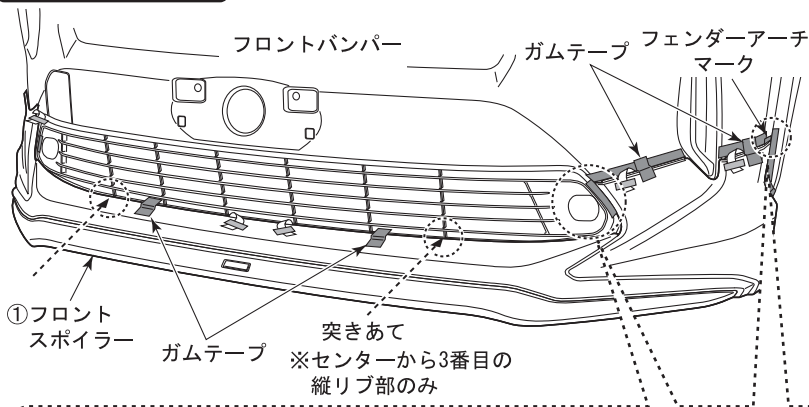


LH図示

※RHも同様

1. 車両フェンダーアーチ折り返し上部を車両ビスで固定する。(左右各1カ所 計2カ所)
2. 車両フェンダーアーチ折り返し部のフェンダーライナーリテーナーを復元する。(左右各1カ所 計2カ所)
3. 後端下面部の車両ビス及びクリップを復元する。(左右各2カ所 計4カ所)
4. フロントスポイラー後端下面部を⑤クリップAで固定する。(左右各1カ所 計2カ所)

(12) 取り付け

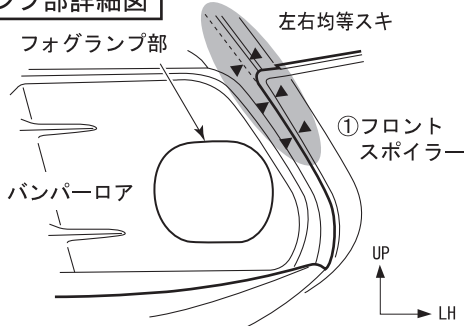


1. ①フロントスポイラーを車両にガムテープで仮固定する。その際、図示○部は左図の要領で合わせを行なう。

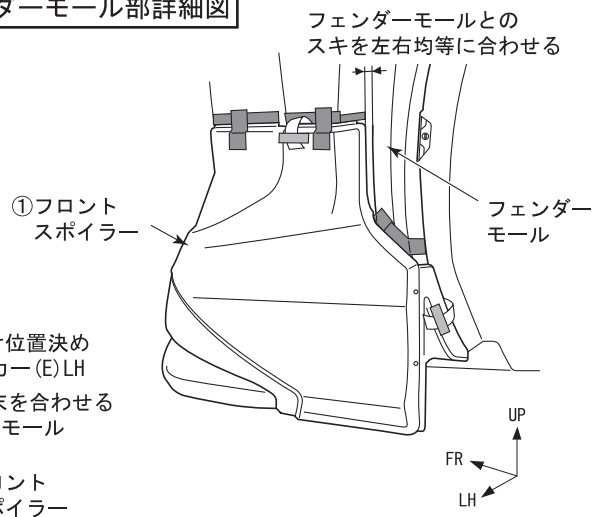
アドバイス

- ・位置決めの際、フェンダーモール部の左右のスキを均等にして下さい。
- ・位置決めの際、車両へキズを付けない様に注意して下さい。

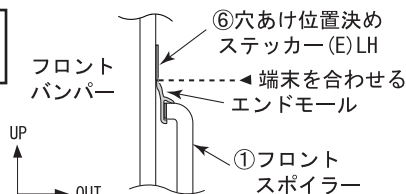
フォグランプ部詳細図



フェンダーモール部詳細図



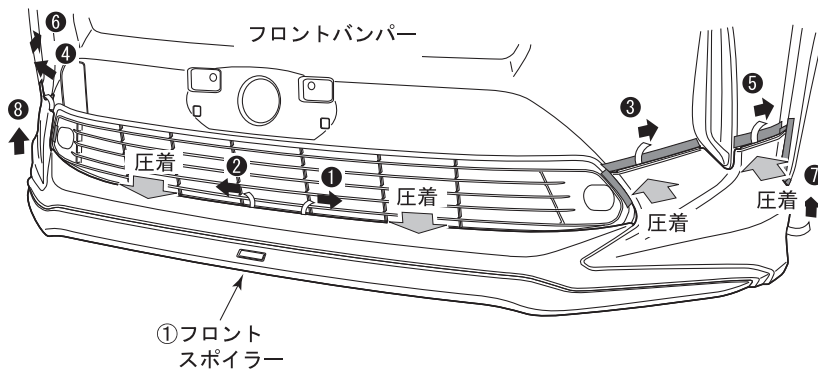
フェンダーアーチマーク部断面図



LH図示

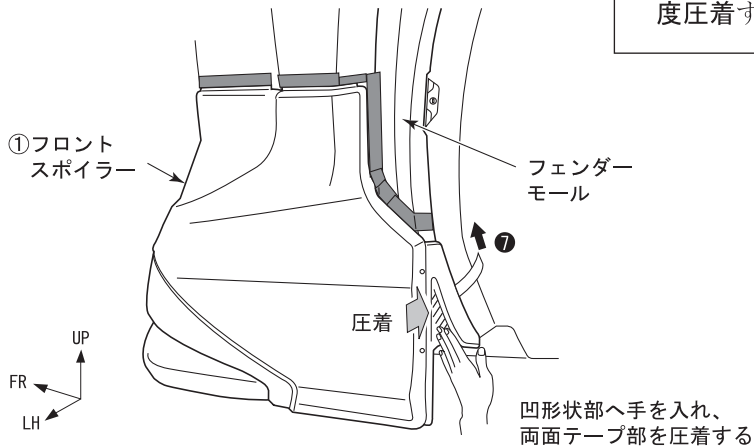
※RHも同様

(13) 取り付け



①フロント
スポイラー

フェンダーモール部詳細図



LH図示

※RHも同様

1. 両面テープ離型紙を図示①～⑧の順に引き抜きながら圧着する。
2. 全体圧着後、フェンダーモール部は図示の要領で再圧着する。
3. 全てのマスキングテープ及びマークを剥がす。

アドバイス

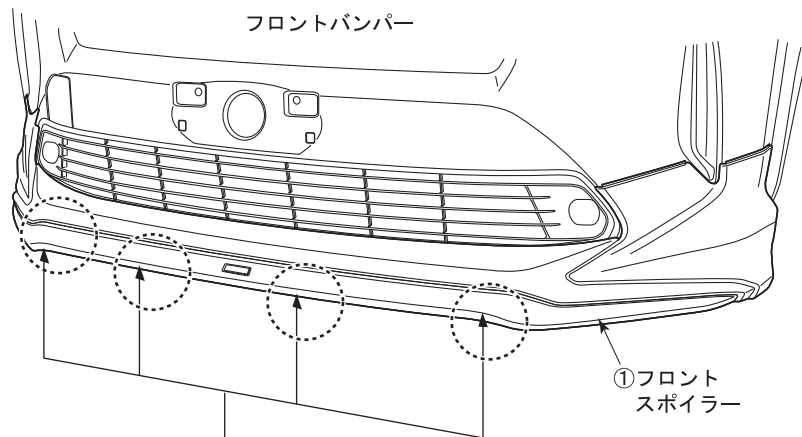
・両面テープの圧着力は49N(5kgf)以上で行なって下さい。

4. 全てのマスキングテープ及びマークを剥がす。

重要

5. 浮き、剥がれ、傷等が無い事を確認し、再度圧着する。

(14) 取り付け

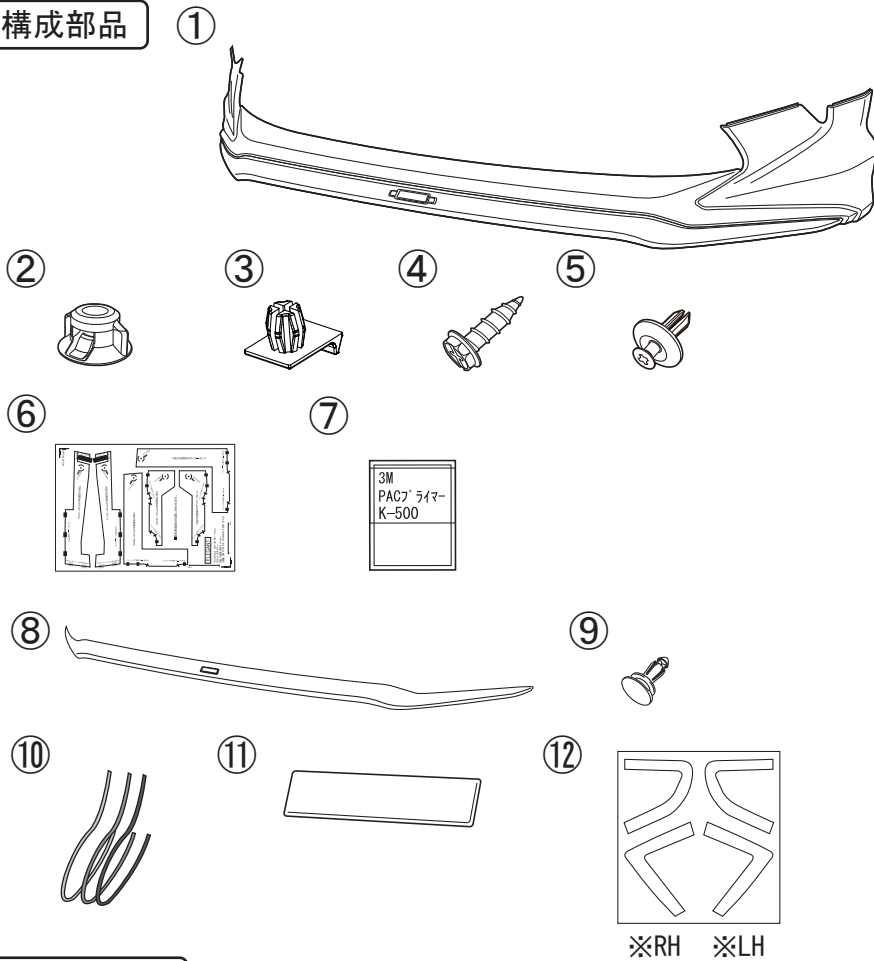


④アプセットタッピング
スクリューM6×16

1. 全ての両面テープ接着面を3時間後に全て再圧着する。
2. 全てのビスを本締めする。(4カ所)

フロントスポイラー素地品の塗装手順

構成部品



No.	品名	個数
①	フロントスポイラー	1
②	クリップナット	2
③	スクリューグロメット	4
④	アプセットタッピングスクリューM6×16	4
⑤	クリップA	2
⑥	穴あけ位置決めステッカー	1
⑦	PACプライマーK-500	1
⑧	ガーニッシュ	1
⑨	クリップB	3
⑩	エンドモール	ライトグレー: 1 ダークグレー: 1 黒: 1
⑪	エンブレムプレート	1
⑫	マスキングシール	1セット

⑩エンドモール推奨使用色

色番号	色名称	モール色
070	ホワイトパールCS	ライトグレー
089	プラチナホワイトパールマイカ	ライトグレー
1L0	シルバーメタリック	ダークグレー
1L6	マッシュグレー	黒
209	ブラックマイカ	黒
3T3	センシユアルレッドマイカ	黒
4V6	ベージュ	ダークグレー
5C2	プラスゴールドメタリック	黒
8W2	グレイッシュブルー	ダークグレー
8W7	ダークブルーマイカメタリック	黒

(1) 塗装作業

1. 塗装面の汚れ、ゴミ、ホコリをウエスで取り除き、必ず脱脂を行なう。

アドバイス

- ・脱脂は手早く行ない、十分溶剤を揮発させてから次の作業を行なって下さい。
- ・もし、ペーパー等で素材を研磨する場合は、必ずペーパーの番手を#600以上で完了して下さい。

2. 製品に取り付けてある両面テープ、発泡ゴム、サイドインナー部をマスキングする。

3. **上塗り塗装を行なう。(本品の材質はABSです。)**

注記：上塗り用の塗料はウレタン系をご使用下さい。

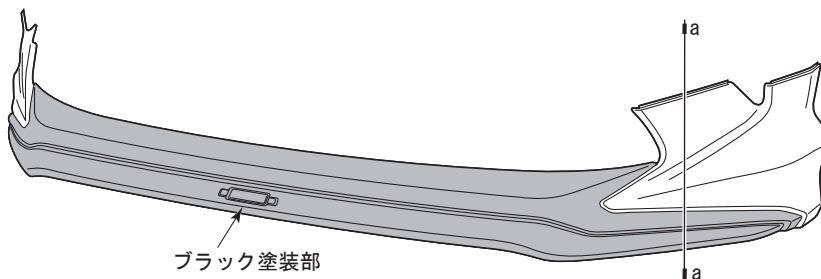
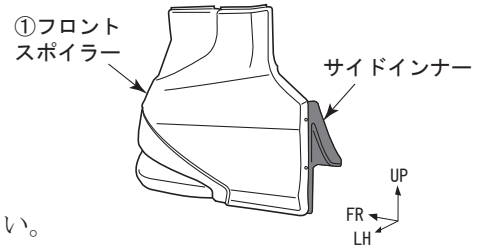
4. 図示部をブラックに塗装する際は、図示要領でマスキングする。

※ブラック塗装はブラックマイカ〈209〉で塗装して下さい。

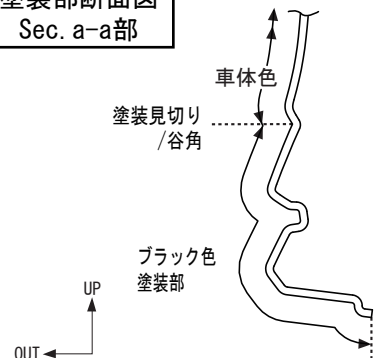
本体塗装色がブラックマイカ〈209〉の際は、つや消しブラックで塗装して下さい。

5. 乾燥

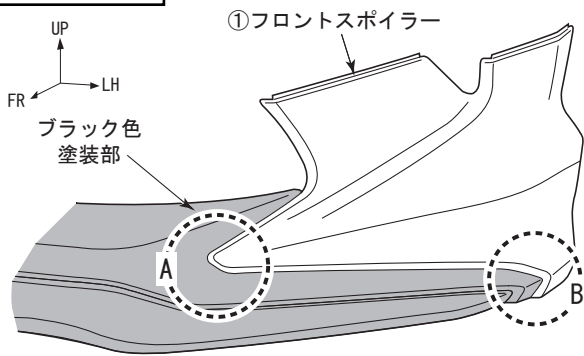
注記：乾燥温度は、成形樹脂の物性上、必ず60°C以下で乾燥させて下さい。



塗装部断面図 Sec. a-a部

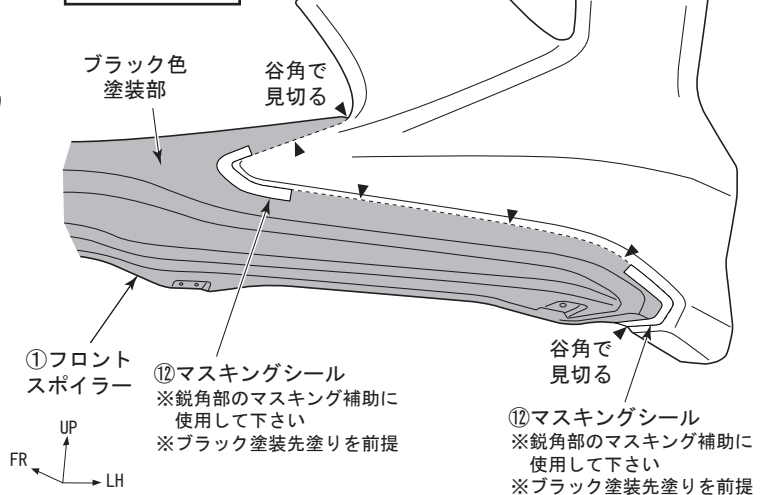


塗装部詳細図



LH図示 ※RHも同様

A, B部詳細図



⑫ マスキングシール ※鋭角部のマスキング補助に使用して下さい ※ブラック塗装先塗りを前提

(2) エンドモールの貼り付け作業

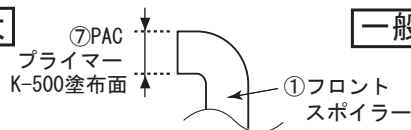
1. 塗装終了後、⑩エンドモールを貼り付ける部分を脱脂し、⑦PACプライマー-K-500を塗布する。

アドバイス

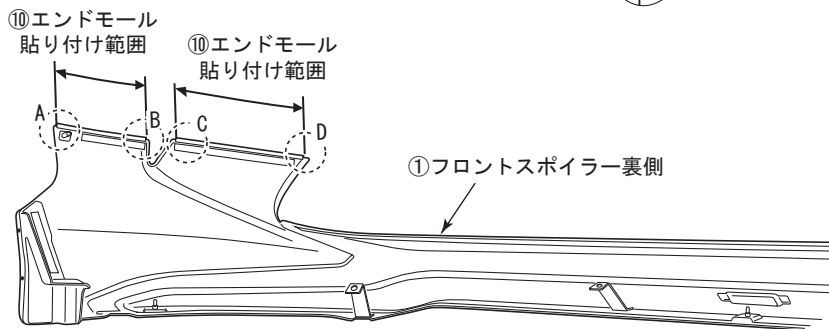
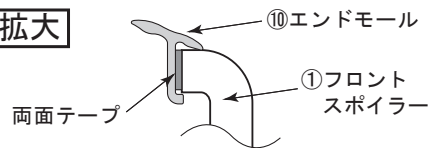
- ⑦PACプライマー-K-500は①フロントスポイラー取り付け時に再使用します。揮発性が高いので、速やかに袋に戻し揮発を抑えて下さい。
- ⑦PACプライマー-K-500は特に白色塗装面を黄変させますので、マスキングするか、はみ出したプライマーは、アルコール等で拭き取って下さい。
- ⑦PACプライマー-K-500塗布後は、常温で10分以上放置し乾燥させて下さい。

2. 下図の要領で⑩エンドモールを貼り付ける。

一般断面拡大



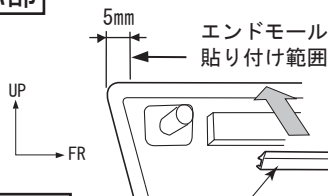
一般断面拡大



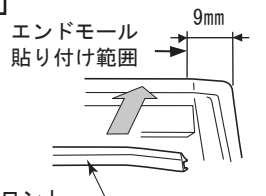
LH図示 ※RHも同様

A/B部詳細図

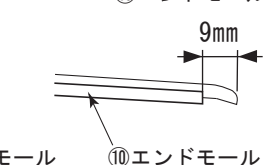
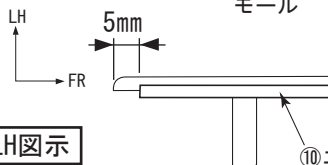
A部



B部



上面視

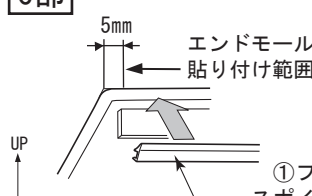


LH図示

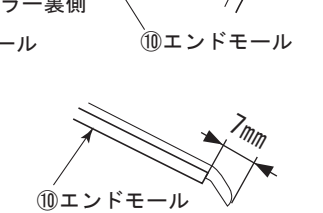
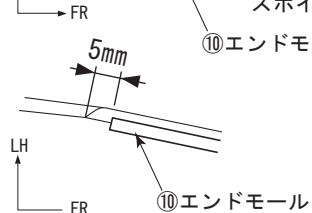
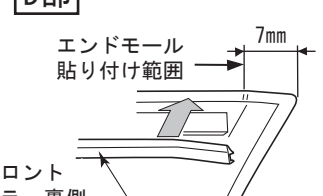
※RHも同様

C/D部詳細図


C部

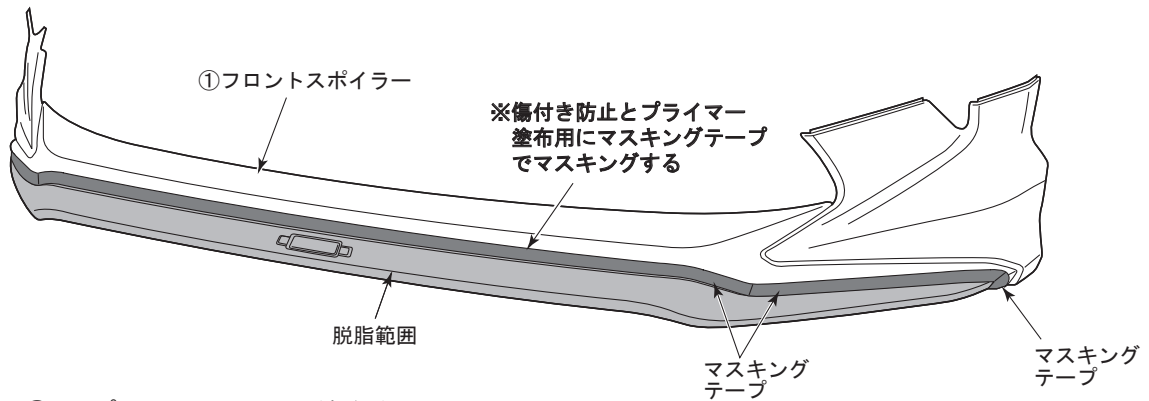


D部



(3) ガーニッシュの取り付け作業

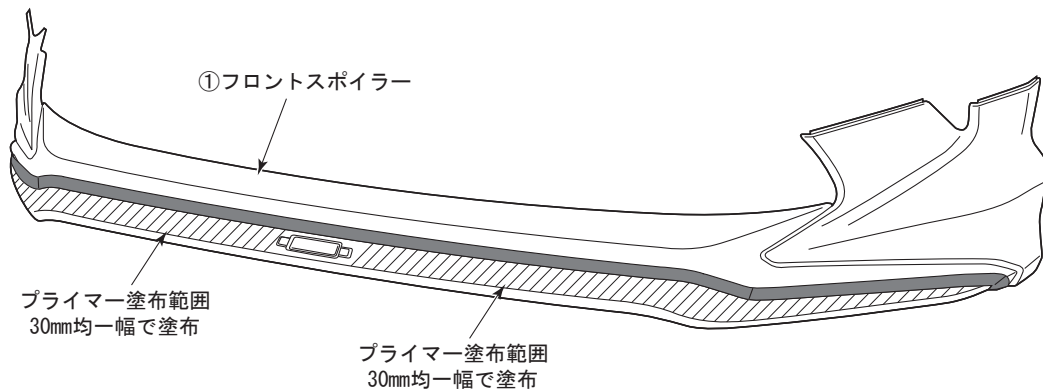
- ⑧ガーニッシュ取付け時の傷付き防止とプライマー塗布の為、①フロントスポイラーの図示位置にマスキングテープでマスキングする。
- 下図  部を一方方向に拭いて脱脂する。



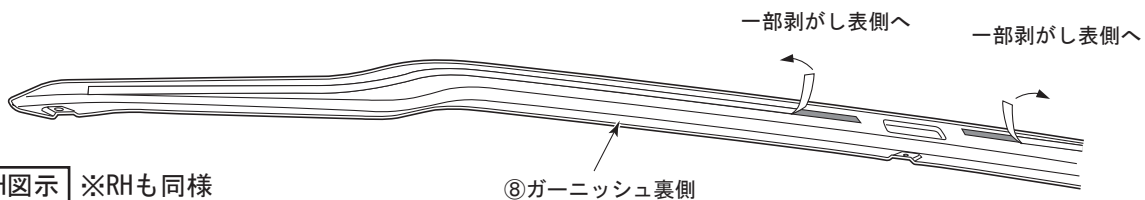
- 図示部に⑦PACプライマー-K-500を塗布する。
※塗布後もマスキングテープは剥がさないで下さい。

アドバイス

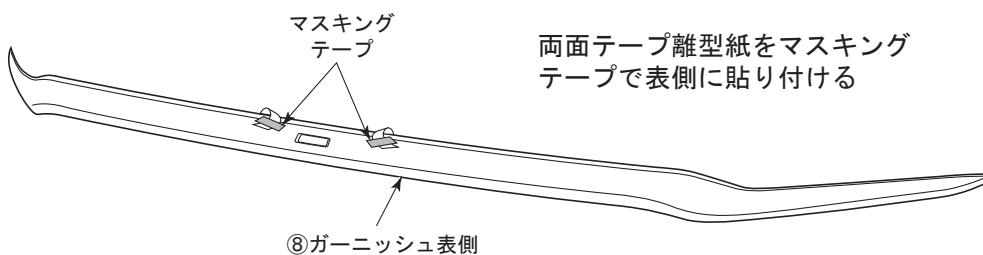
- ⑦PACプライマー-K-500は①フロントスポイラー取り付け時に再使用します。揮発性が高いので、速やかに袋に戻し揮発を抑えて下さい。
- ⑦PACプライマー-K-500は特に白色塗装面を黄変させますので、マスキングするか、はみ出したプライマーは、アルコール等で拭き取って下さい。
- ⑦PACプライマー-K-500塗布後は、常温で10分以上放置し乾燥させて下さい。



- ⑧ガーニッシュ裏側の両面テープ離型紙を一部剥がし、表面に折り返してマスキングテープで貼り付ける。



LH図示 ※RHも同様



5. ⑧ガーニッシュを①フロントスポイラーにあてがい、下面を⑨クリップBで固定する。(3カ所)

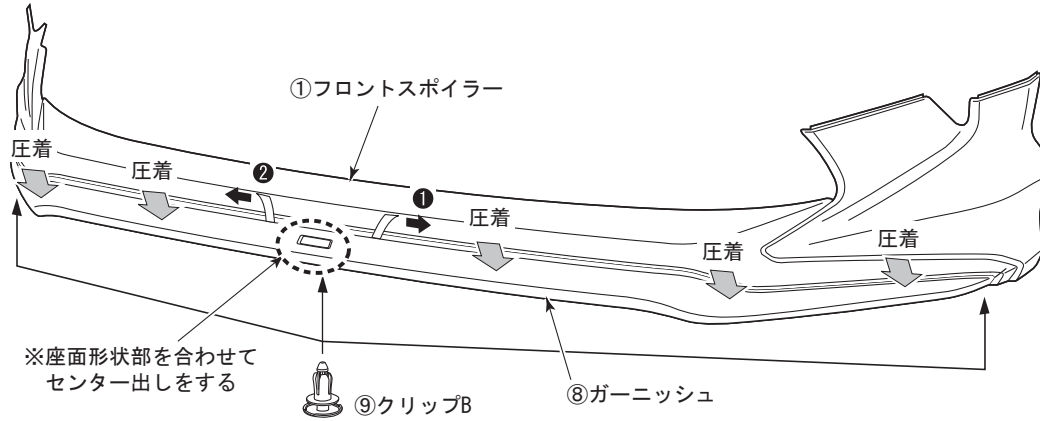
アドバイス

- ・あてがう際、①フロントスポイラーに傷つかない様注意して下さい。

6. ⑧ガーニッシュの両面テープ離型紙を図示①～②の順に抜き取りながら圧着する。

アドバイス

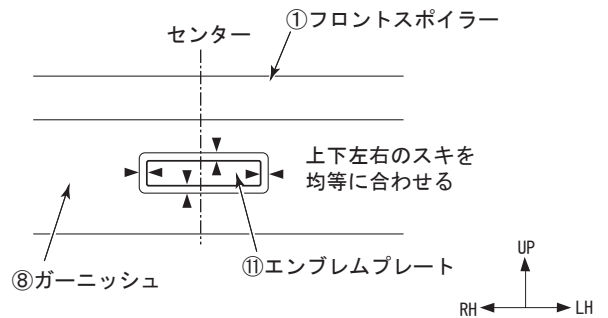
- ・両面テープの圧着力は49N(5kgf)以上で行なって下さい。
- ・圧着は表面と裏面より挟み込むようにして確実に圧着して下さい。



7. 全てのマスキングテープを剥がす。

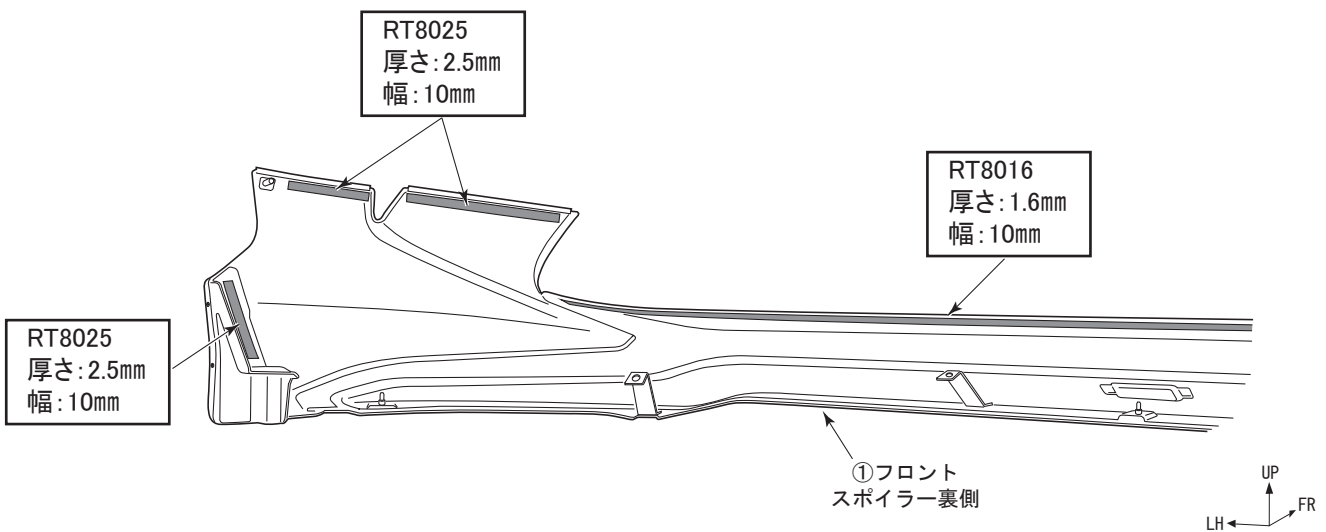
(4) エンブレムプレートの貼り付け作業

1. ⑧ガーニッシュセンターの⑪エンブレムプレートを貼り付ける部分を脱脂する。
2. ⑪エンブレムプレート裏面の両面テープ離型紙を剥がし⑧ガーニッシュの取り付け座面に、上下左右のスキが均等になる様に合わせて貼り付ける。



参考

1. 補修キット(品番:D2539-63640,MSD80-52H13)を使用してフロントスポイラーの取り付けを行なう際は、下図を参考に両面テープを選択し、貼り付けて下さい。



脱脂作業要領書

本書ではエアロパーツ等を取付ける際の脱脂作業について記載してあります。
取付け前に必ずお読みいただき、正しい要領で脱脂作業を行ってください。

エアロパーツの取付け・脱脂作業の要領を
解説動画でご覧いただけます。
右のQRコードよりアクセスのうえ
ご確認ください。

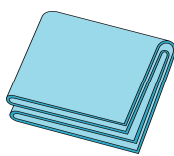


- ①エアロ取付準備・脱脂 (約3分)
 - ②エアロ位置決め・取付・圧着 (約6分)
 - ③デカール準備・水貼り・圧着 (約4分)
- 合計 約13分

■ 取付け時の脱脂作業に必要な工具等



水拭き用バケツ



合成セーム皮



脱脂剤用
スプレーボトル



ゴム手袋



DRY 用
ウエス



WET 用
ウエス



イソプロピルアルコール(IPA)
純度 70%程度を推奨
※純度 100%はモールの痛めるため
使用しないこと

■ 脱脂作業上の注意事項

- ホコリ・チリ等のない換気の良い作業場で作業を行ってください
- 隣接する場所で、ワックスがけやポリッシュ作業等を行わないで下さい。
※飛散した油脂やワックス等の成分が車両に付着してしまいます。
- 脱脂剤を取り扱いの際は、眼・皮膚に触れないように保護具を着用のこと。
- 脱脂剤を取り扱いの際は、作業場に火気・熱源のないことを確認すること。
- 脱脂剤を取り扱いの際は、蒸気を吸い込まないように作業場内の換気に注意のこと。

⚠ 注 意・・・注意事項を守らないと事故につながったり、ケガをしたり、車両を損傷する等のおそれがあることを記載しています。

👉 アドバイス・・・スピーディーに確実に作業していただく上で、知っておいていただきたいことを記載しています。



使用禁止



ブレーキクリーナー
パーツクリーナー



ホームセンター等でキャンプ用
燃料用として販売されている
ホワイトガソリン〔白ガス〕

市販のブレーキ・パーツクリーナー及びキャンプ用品や燃料用のホワイトガソリンは
油脂分や不揮発性添加物が含まれているものがありますので使用しないで下さい。
コーティング剤の下地処理剤は、用途と異なるため脱脂作業には使用しないで下さい。
脱脂不足により、浮き・ハガレの原因となります。

★脱脂作業概要《重要》

◎【脱脂作業】とは、取付け面の表面に付着した油脂分を取り除き、両面テープの性能を十分に発揮させるための重要な下地処理です。

下地処理が不十分だと、両面テープの性能が著しく低下して、浮き・ハガレ脱落などの不具合を起こす場合があります。

大変に重要な作業となりますので確実に行ってください。

◎ 脱脂剤は、取付け面に付着した油脂分を浮かび上がらせて、ウエスへの吸着を促す溶剤です。

脱脂剤で取付け面を拭いただけでは、十分な脱脂は行えません。

《脱脂作業前に》以降の作業要領を十分に理解したうえで作業を行ってください。

■ 脱脂作業前に

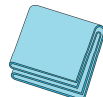
- 取付け面のホコリ・チリ等の汚れを十分な流水で洗い流す。
汚れのひどい場合は、洗浄剤を使用して汚れを落とし、洗浄剤を十分に洗い流すこと。
- 取付け面にコーティング等を施工されている場合は、除去剤・コンパウンド等を使用し除去してください。除去後、十分に水洗いを行ってください。
※コーティング剤が残っていると両面テープはハガれます。
- 水洗い後は、取付け面に付いた水滴を完全にふき取ってください。

■ 脱脂作業要領

- 取付け面の洗浄を行い、固く絞った合成セーム革等を使用し拭き上げて水滴をしっかりと取り除く。



水拭き用バケツ



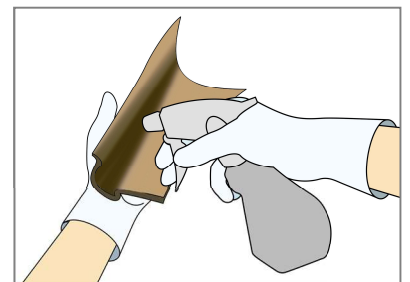
合成セーム皮

- スプレーボトルに入れた脱脂剤をWET用ウエスに吹きつける。



WET 用ウエス

※ ウエスは清潔なウエスを使用して、拭き上げ時にクズなどが出ない素材を選んでください。



WET 用ウエスにスプレーボトルを 5 cm ほど離して、初回は 10 回程度スプレーをして、ウエスが湿っている状態で取付け面を拭いてください。以降は WET ウエス表面が乾く前に追加で 5 回程度スプレーし、常に湿った状態を保つようにしてください。

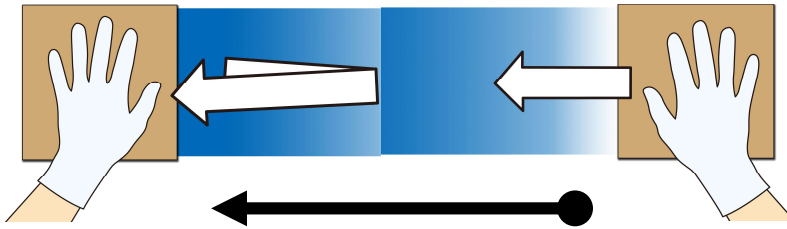
● 取付け面の脱脂作業を行う

①【WET 拭き】

脱脂剤を含ませたウエスで
1 往復で拭き油脂分を浮き上がらせる

②【DRY 拭き】

DRY 拭きウエスで一方向に
拭き上げ油脂分を取り除く



1 ブロック 60 cm 程度として両手に WET と DRY のウエスを交互に持ち
WET⇒DRY の順に拭き上げて脱脂する。

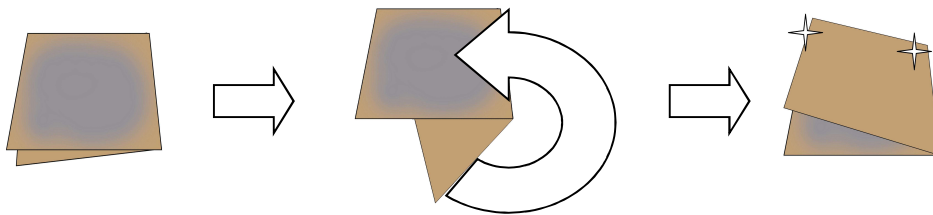
範囲が広い場合は 1 ブロック 毎を数回に分けて行い、仕上げに面を通して拭き上げる



WET 拭きのあと脱脂剤が乾かないうちに DRY 拭きで一気に拭き上げを
行ってください。

(上図のように両手にウエスを持ち作業を行うと素早く作業できます。)

DRY 拭き作業後に拭き上げた面に、拭き跡が残っている場合は油脂分が
残っていますので、再度 WET・DRY 拭きを行ってください。



WET/DRY のウエス共に 3～5 ブロック 毎にウエス表面を折り返し
ウエスの拭き取り面が常に清潔な状態で作業を行ってください。



汚れたままのウエスを使い続けると、ウエスに拭き取った油脂分が取付け面に
再び付着して、エアロパーツの浮き・ハガレの原因となります。

脱脂作業がしっかり行われている取付け面は、DRY 拭きを行った際に
ウエスへの抵抗が増して、拭き上げが重くなります。
作業前と作業後のウエスの抵抗感を目安に、脱脂を行ってください。

脱脂後の取付け面には、指などを触れないように作業を行ってください。

脱脂後は長時間放置せず、すぐに作業を行ってください。

チリ・ホコリ等が付着しないように、十分注意してください。
パーツの取り付け方法は、各パーツの取扱説明書ならびに取付要領書に
したがって行ってください。